

加茂里山通信

平成27年
夏号

発行 市原商工会議所
加茂里山通信編集部
編集長 征矢貫造

第3分団優勝!

市原市消防操法大会

今年で48回目を数える市原市消防操法大会が、6月24日に市原市総合防災センターにおいて開催されました。加茂地区の代表は第3分団(久保・外部田・駒込・山口)が出場。ここ3年は、姉崎・南総・南総と市の大会では他の支団に優勝を譲ってきていたが、今年には2位に大差をつけて見事な優勝を飾り、市の代表となりました。



日ごろの成果を発揮し晴れやかに!

6月20日に習志野で行われた支部大会も順調に勝ち抜き、7月25日の県大会に駒を進めています。第3分団の活躍を期待したいと思います。

市の大会での最優秀操作員は次の通りです。

- 指揮者：川崎宣彰(加茂支団)
- 1番員：中山文也(加茂支団)
- 2番員：伊藤成二(加茂支団)
- 3番員：阿部隆幸(南総師団)

(大貫根下里山通信)

里山ホテル通信

ホテル観賞会が例年どおり大勢の方の協力により開催された。見学に訪れた方は、市原市内はもとより市外の方々も、今年もホテルの飛び立つ時間は19時半すぎと、何を基準にホテルは活動しているのか知りたい程の正確さ。暗くなってきたのだから、早めに飛び立つてくれても良いものだと思ふ。最初の一匹は木の下の本当に暗い場所でも光を放ち始める。

今年の観賞会も雨に影響されてしまった。更に雨の影響以上に気温の上昇が早かった。5月下旬にはホテルの飛び交う姿を多く見ることが出来た。この時期はまだ灯りは全くない。水の流れる音のみ。サルやインシシが動き回る音を聞きつつ、観賞することもある。去年は気温が低かったために、鑑賞会を予定の日程では厳しいのではないかとヒヤヒヤした。自然の中の天然のホテルを観賞するには、その年の天気及び気温などの影響を考慮する必要がある。今回の場所以外でも多くの場所(古敷谷地区)で乱舞する様子を見ることが出来たとの話を聞いている。ゲンジボタルは水がきれいに流れている場所を好んで生息する。以前は水を引き込んでいた水路近辺で見られていたホテルが、耕作放棄となり水を引かなくなり見られなくなった。昼間の明るい時に場所を確認して、どんな場所をホテルが飛んでいるのかを知って見るのも面白いと思う。

(矢代里山通信員)

暗闇に軌跡を描く平家ボタル

里山会議開催される

加茂地区をはじめ、南部で活躍する地域活動団体を集めて開催される南市原里山会議が6月25日に月崎公民館で行われました。不定期開催ですが、年に2、3回は行われます。集まる活動団体は徐々に増え、その数は20を超えています。この会議には市の関係職員や湖畔美術館の職員、小湊鐵道関係者も参加していました。アトミックス関連の話と秋の「花プロジェクト」に関する話など、また、越後妻有の「大地の芸術祭」のバスツアーなどの紹介もありました。そしてこの日一番時間を割いて説明がなされたのは



熱のこもった説明です

小湊鐵道のあるプロジェクトについてでした。スライド形式の写真を見せながら、小湊鐵道の石川晋平社長が思いを語り進めていくある列車とそれを引く張る動力車の完成間近の様子を、動画も含めて見せての説明でした。以前からプロジェクトの内容は耳にしていたものの、もうすでに完成に近づきつつあるというところで話にも熱がこもりました。石川さんが前から何度か言っていたことがあります。「今は圏央道が通り、東京から1時間、羽田から40分の距離にある。都心から1時間の距離でこれだけ自然が残っているところは世界の主要都市と比べてもはるかに多くはない。ここでこのプロジェクトを進めたら多くの人がやってくることになると思う」。早ければ夏の終わり頃から秋の初めにかけて試運転としてその姿を見ることができそうです。日本中の注目を集め、海外からのお客さんの関心も集めることになるでしょう。新たな観光拠点が誕生しそうです。大方の話が終わり、懇親会に移ると食べたり飲んだりしてあちこちに話の輪ができ、人も動き、様々な交流の場となっていました。

(征矢里山通信員)

加茂学園一年生です!

入学して3ヶ月が経ちました。16人の子ども達は、毎日元気に学習をしたり、外で遊んだりしています。できることが少しずつ増えてきました。今は、学校の大きなプールに入って、もぐったり、浮いたりすることが楽しみで仕方ありません。学習中でも遊んでいる中でも、キラキラした目と、まっすぐな心で新しい発見をたくさんできる子ども達の、これからの成長がとても楽しみです。

担任の先生より



みんな元気いっぱい!

入学おめでとう!
みんながきみたちの
えがおをまっていたよ
がんばれ!

ようこそ南総ボーイズ

閉校した学校跡地の活用を各地域の検討委員会が模索しているところですが、高滝小学校の跡地では少年野球チームの南総ボーイズが土日をフルに使って活動しています。これまでは、新しくできた牛久の「菜の花館」の先の広場（通称てんのつばら）で活動していたのですが、この3月から新たに高滝を拠点とすることになりました。まずは高滝神社で祈願をし、近所廻りもしました。その際つらさで迷惑をかけるのではと心配していたところ、逆に「子供の声が聞こえるのはいいこと」と言われ、感謝しています。月1回、みんなで学校周りのゴミ拾いもしています。



さわやかな五月晴れの下

里山からの発信

この5月にはみんなでグラウンドの橋向こうの田んぼで田植えを行いました。高滝小学校跡地利用検討委員会が主催し「アグリ高滝」が共催したものです。「アグリ高滝」は検討委員会のメンバーでもある渡辺進さんをリーダーとした高滝地区の農業を専業とする集団です。将来的には共同経営へ形を変えていけたらと考えているそうです。アグリは農業



そろいのTシャツをきめました

を意味するアグリカルチャーから来ています。今回は事前準備をし、子供たちに田植えの指導をしながら

一緒に植えていました。「子供たちに農業体験をしてもらい、少しでも興味を持ってもらって、将来の担い手を作りたい」と渡辺さんは言っていました。9月には稲刈りが待っています。それもまた楽しみです。



運転初体験が田植え機!

南総ボーイズのメンバーはこの時点（5月初め）で18名。南総ボーイズといっても加茂学園の子もいます。ボーイだけでなく数名のガールもいます。そしてキャプテンは加茂学園の女の子です。中條監督は「野球だけではなく、あいさつもしっかりとできる子になってほしい。そして学校生活も変わっていきければ」と話していました。また「地域の方たちに支えられているので、周りから応援されるようなチームにしていきたい」と抱負を語ってくれました。年間60試合をこなすそうですが、高滝湖マラソンに参加したり、バーベキューなどもあるそうです。地域のみんなで応援したいものです。メンバーを随時募集しています。連絡先は「090・6145・8218富士枝」さんです。

一枚の色紙

前号で復興支援事業として「加茂のタケノコを被災地に！」と題し、4月26日にタケノコを集荷するというところで募集しました。当日朝、7時前に主催者「市原有志の会」の藤田君が保冷車でまずうちに来てきました。福島県の被災者の女性が一人、その日行く久之浜出身の女性が一人、役所勤めの人が一人、そしてアイチャネルの取材の人が一人、そして私の6人で、まず裏山のタケノコを掘り、薪を刈り、車に積み込んでから集荷場所の商工会議所加茂支部へ向かいました。集荷時間は8:30~9:00であるのに8:00前にすでに人もタケノコも集まっており、袋に詰めたタケノコをどんどん保冷車に積み込みました。この時はまだ数える暇もないほどでした。

8:30までには大方積み終えたものの9:00まで待つてから出発。市原鶴舞インターから園史道、途中一般道、また園史道、常盤道とほとんど休みなしで走り、福島県の久之浜へ到着したのは1時間前でした。

藤田君が伝えていた到着時間からは大幅に遅れたため、すでに多くの人が並んで今や遅しと待っているところに車を乗り入れました。250枚もの整理券を配ったものの、早くから並んでいる人たちのために婦人会の人たちが炊き出しをした後でした。さっそくタケノコと薪を全部出して並べ、準備ができた段階でみんなに配りました。小さいものは2本あげたり、スタップの分もあつたりで、この時点でタケノコの数がおよそ450本あまりだったことがわかりました。目標の1000本には届かなかったものの、昨年の3倍のタケノコが集まりました。浜風商店街で美味しいラーメンを食べ、あちこち寄ったり、道に迷ったり、ちよつとしたトラブルもあり、私の家にみんなで帰ってきたのは夜の11時半頃でした。そのあと五井まで帰った5人は12時を過ぎていたことと思います。でもこの日はなぜかそれほど疲れを感じませんでした。



市原商工会議所様 加茂支部 久之浜婦人会一同

後日久之浜の婦人会の方たちから色紙が送られてきました。そこには一人一人の寄せ書きでタケノコが美味しかったことなどへの感謝の言葉がつけられています。何よりの気持ちのこもったものでした。出品してくれたひとたちの中でわかった範囲で住所と名前を藤田君経由で伝えていたところ、それぞれに色紙が送られてきたらしく、みんなうれしそうに見せに来てくれました。来年はきつともっと多くのタケノコを集められそうです。

この秋のいちはら国府まつりにこの久之浜の婦人会の人たちがやって来ます。お札を兼ねてまつりに参加し、手作りの品などの販売もするそうです。（従天里山通信員）

里山のこぎ走

子供の頃、小学校の行き帰りはお土産屋さん無く、小川や山越の道を歩いて通いました。真冬に凍った田んぼでスケートの真似事、上から伸びている蔓を使って崖を登る。夏には小川に入りドジョウやザリガニ、タニシ採り、学校の近くの沼にシジミ採りに行き、石投げをして何段跳ねるか競争しました。まだ舗装していない道で長く伸びた草を縛りワナを仕掛けたり、落とし穴を掘って友達と駆けまわって遊んだものです。数珠玉で首飾り、シロツメクサで冠を作り、ツバナを噛み、すかんぽをかじり、野イチゴを摘み、グミや桑の実を探して食べながら歩く。食事は家で食べるのが当たり前でも手作り派、無花果でジャムを作り、干し柿、栗ごはん、柏餅、おはぎ、草団子、いなりずし、ニワトリを飼っていたので卵かけごはんは定番です。春にはおにぎりを持ってワラビ狩り、秋にはキノコ狩りでした。



NHKの子供番組で3人の子供がお寿司屋さんにごをめぐって「お寿司は回る」「お寿司は回らない」「おばあちゃんのお寿司しか知らない」と話が平行線をたどり、ネットでは格差社会とか騒がれていました。子供にとってはどの子が幸せかなんて関係ない話だと思います。どんな高級な食べ物でも一人で食べたらおいしくないし、贅沢じゃなくても手をかけたおいしいものってたくさんあると思います。私が家族とおにぎり持参でワラビ狩りに行ったのは、まだ小学

校に上がる前だと思いましたが、母が言うには季節が秋になったころ、私がお母さん、またおにぎりを持ってワラビ狩りに行こうね。」と言ったそうです。（食べ物への思い出がなぜか多い）



最近食べ最高に贅沢な物は差し入れていただいた『養老川で釣ったヤマベのから揚げ』でした。おいしかったです。なかなかお目にかかれませんが、愛情がこもった飯はおいしいです。塩むすび、お赤飯、おかまぜ、赤シソおにぎり、桜の塩漬おにぎり、手作りパン、ふきの煮物、トマト玉ねぎサラダ、タケノコ飯のおにぎり、ひじきの煮物、ピースごはんのおにぎり、空豆の塩ゆで、きゅうりの漬物、太巻き寿司、キャラプキ、フキのぬか漬け。「里山の御馳走」ですね。美味しいものを食べさせてあげたい、相手の体調を気にかつての品々はコンビニでは買えません。里山の恵みに感謝して日々暮らしていきたいものです。（大曾根R里山通信員）



こっもど紀行 日本でどうしかな 消防部隊誕生!

平成27年3月に総務省・消防庁から「大型放水砲搭載ホース延長車」と「大容量送水ポンプ車」が市原市消防局に配備されました。

大型放水砲の口径は150ミリ。普通の消防ホースの径が65ミリですから、その大きさを想像してみてください。ホースが太くて丈夫なため、車で延長するようにしています。放水砲は最大、毎分8000リットルの水を放水できます。その水を送るためのポンプを2基搭載した、クレーン付きの車がポンプ車。この2両を中心に化学消防車、高所放水車、泡原液搬送車を組み合わせてコンビナート災害に対処する部隊



ものすごい放水量です

が作られました。部隊名は「ドラゴンハイパー・コマンドユニット」となり、東日本大震災でのコンビナート災害の経験を生かした消防力の強化が図られています。全国で、三重県四日市市と市原市の2か所で部隊が編成され、当面は、東日本のコンビナート災害に出勤することになっています。消防庁では平成30年度末までに全国12地域に部隊を配備する予定ですが、それまでの間は市原市消防局が大きな責任を負うことになります。
(大倉根下里山通信)

高校生ゴルフ場視察研修会

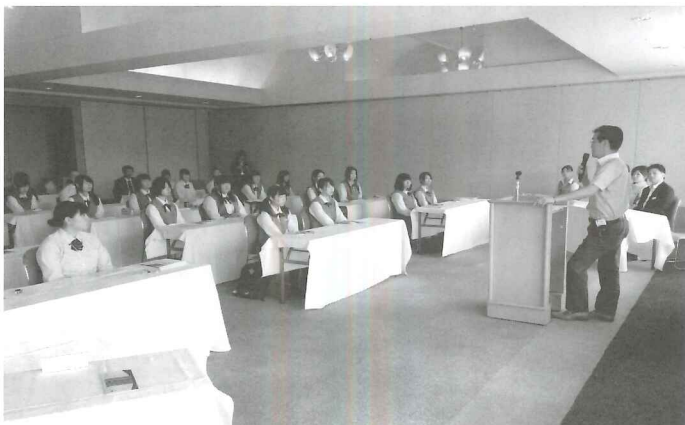
去る6月22日に市内の高校生を対象にゴルフ場視察研修会が行われました。ゴルフ場を職場という観点から視察するという事で、就職希望あるいは関心のある高校生の募集を行い、市内2つのゴルフ場さんの協力を得て実施しました。回を重ねて今回で5回目になります。

主催は市原商工会議所観光部会、協力いただいたゴルフ場は市内南部の富士OGMカントリーさんと鶴舞カントリーさんでした。梅雨の中ばの好天に恵まれ芝の上を少し歩くこともできました。

主催者の一人としてそれぞれのゴルフ場さんに事前打ち合わせに行くのですが、いつもお願いしていることがあります。支配人さんか副支配人さんには「社会人としての心構え」を話していただけるようお願いし、そのほかに各現場で仕事をしている人たちにもお話をさせていただきたいことも伝えます。

仮にゴルフ場以外に就職するようになって、社会人の先輩から新社会人となる人たちへのメッセージとなるようにと考えています。

今年はそのそれぞれのゴルフ場さんがきちんと準備をされていて、現場で働く従業員の方達の体験を踏まえた生の声を多く聞くことができました。また富士OGMカントリーの副支配人さん、鶴舞カントリーの支配



真剣なまなざしは話す人を緊張させます



広々して気持ちいい芝の上

人さんがそれぞれの立場から普段から実施していること、心がけていることなどを熱く語ってくれました。話を聞いている高校生も前を向いてみんな真剣でした。質疑応答の際には「寮がありますか?」など具体的な質問も出ていました。
(征矢里山通信員)

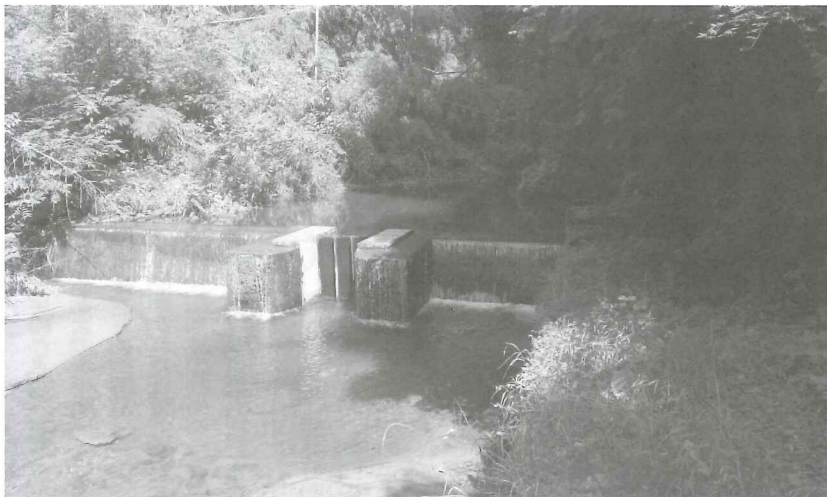
第十回町会紹介

上古敷谷町会

我が故郷の遺産

今、国をあげて世界遺産の登録を競っている。最近では島根の銀山、富岡の製糸工場、長崎の軍艦島等、町起こしの観光資源としてそれぞれの地域で力を入れており、登録されると地域経済を押し上げそれなりの効果も上がっている。

しかし、自然遺産は別として大規模な建造物、資源掘削坑、大土木設備等は時の一般人が望んでいたものなのか。概して当時の権力者の見栄や欲望、国策等に



また、専門の土木技術者もいるわけではなく、知恵のある人が測量をし、素人による隧道の掘削、練ったコンクリートの人力による運搬等、今では想像出来ない過酷な工事であったが、地域総出で取り組み成し上げた。

今も使用されている水路の規模は、古敷谷川の上流通称シモンド(四門堂)の止場(取水口)から下ウロクジ(道陸神)様(かずさカントリー入口付近)分岐まで約2.8キロ。ここから東側ルート、稲荷山麓を通り林地区まで約2.7キロ、西側ルートは浅間山の

り無理無体作り民の益少ない血と汗の遺産であると思われるものもあり、諸手を挙げて歓迎出来ない。私は、(考えが歪曲しているかな)だが、我が故郷の遺産はそうではないぞ。「古敷谷用水路」がそれである。今は田圃の耕作者が激減し、その維持が困難になり全盛期の面影はない。しかし今から10年前、近所の古老(今は施設)が雨の降った時に私の家に来ては、水路建設の経緯を話してくれ、感銘を受けたので、当時の話を思い出して記録する。工事開始は、今から百数年前の大正の初め。行政からの補助金なし。土質、U字溝の製管なし。セメント、鉄骨等資材は馬車で2日掛けて調達。重機等なく大八車1台。あるのは小作人の労働力と地主のやる気(これは自分の土地を田圃にできるから)だけであった。

人と環境が一体となって大切な未来へ

自然環境と人間との調和を目指して

杉田建材株式会社

本社 市原市万田野 26 TEL 0436(96)1311
市原支店 市原市惣社1-1-22 TEL 0436(24)0511
南総支店 市原市牛久450-1 TEL 0436(50)0111

URL <http://www.sugita-group.com/>

作詞家&歌手 NO MOSS
作詞家デビュー10周年記念

NO MOSSと
歌仲間募集

問い合わせ かおケ DAM 5017-56
(株)音楽プロデュース NO MOSS
居酒屋
大ちゃん
市原市迎田229-3
TEL 090-2629-9600 藤野美代

麓を通り下川地域まで3.1キロ。総延長8.6キロであり、その約7割が隧道である。幅約2尺高さ約5尺の隧道に入ると今でもツルハシで掘った跡、壁面には灯火を置いたであろうくぼみ。土の排出・取り出し用等の間隔で開口部があり建設時が偲ばれる。なお、この水路は取水から末端まで緻密な計算がされた勾配により自然に流れた。最盛期の水路利用の田圃約60町歩強、今は10町歩あるかどうか。これもまた時の流れか。郷土の先人達が心血傾注し作り上げたこの水路は、他に引けを取らない偉大な遺産であり誇りに思うが、今では知らない人が多い。
(H・K)

魚屋の戯言

素敵な公務員

先年、母の他界に伴って相続の手続きをする必要が生じました。こういう難しそうな手続きは専門家に頼むものだと思ったので、小中学校の同級生で司法書士をしている友人に連絡してみたら「自分でできるぞ」との事です。そいつに言わせると「特にややこしい事情がないんだら別に難しい手続きでもないし、義務教育を終了している人なら大抵できる」という事だったので自分でやってみる事にしました。幸い相続人は私と3人の姉だけで相続そのものには何の問題もありません。

必要な書類を揃えるためにメモを片手に加茂支所に行ったところ、既に受付カウンターは先客で満員状態。必要書類を揃えるためにメモを片手に加茂支所に行ったところ、既に受付カウンターは先客で満員状態。



やはり夏の花の王様はこれです

後ろで大人しく順番を待っていたら、一人の職員の方がわざわざ出てきて用件を聞いてくれたのにまずびっくり。市役所の人ってこんなに親切だったっけ？と自分に聞き直したくらいです。事情を説明して準備して行ったメモを見せてから十数分後には必要な書類を揃えてくれました。その上「あまり慣れてなくて、もし不足の書類があったらすみません」とまで言ってくれたのです。後日の法務局での手続きには一通だけ足りない書類がありました。それを受け取りに行った法務局近くの市原支所でも分かり易く説明して頂いて、非常にスムーズに手続きを終える事ができました。市原市役所の職員は親切しかも仕事が早い。それまでの漠

然とした意識がひっくり返る思いでした。

それとは別に、今年の4月にはお巡りさんの力を借りた方がいいと思う事があって相談の電話をしました。「緊急性の高い案件ではないのでお手すきの時に来て頂ければ有り難いです」とお願いしたにも関わらず、ものの数分でバイクに乗って駆けつけてくれました。事情を説明すると私には思いもつかなかった対応方法を教えてもらって、さすがに経験豊富ななあと思ったものです。その上、「今は仕事ですぐにはその方法を実行できないので後でやります」と言ったら「それなら私がやっておきましょう」との有り難い申し出を頂いてしまいました。いくらなんでもそれは申し訳ないと思つて辞退したんですが「30分もあればできちゃいますから」と言つて腕まくり。本当に30分で処理して下さったのです。

人相があまり良くないせいとか、昔から道を歩いているだけで職務質問をされ、不快に感じた事も多くて警察にはあまりいい印象を持ってなかつた私の意識はすっかり変わつてしまいました。市役所職員の方もこのお巡りさんも、昔聞かれるお役所仕事とは正反対の親切な仕事で気持ち明るくなった一日でした。

(鈴木里山通信員)

市原商工会議所「いちはら国府盆踊り」

市原商工会議所は市原市の委託を受けて5月より毎月1回「いちはら市」を開催しています。上総更科公園を中心として市原市の「人・もの・文化」の交流と市原市が持つ魅力を引き出した賑わいの創出を目的に実施しています。8月のいちはら市は上総更科公園において新たな盆踊り「いちはら国府盆踊り」を開催します。市原商工会議所が主体となり、オール市原で企画運営していきます。

主催 市原市
日時 8月21日(金)・22日(土)
15:00~20:00

場所 上総更科公園・イベント広場
盆踊り
事業内容 和太鼓演奏
緑日
山車イルミネーション
抽選会等

友達などお誘いあわせの上、お越し下さい。

大盛況!

加茂地区カラオケ大会

5月23日(土)市原商工会議所加茂支部主催の加茂地区カラオケ大会が、スナックまいづる(池和田)にて実施されました。今回で27回目を数えるこのイベントは、地域住民と商工業者の触れ合う重要な機会となつています。「お買物は地元でお願いいたします!」



入賞おめでとうございます

小茶加茂支部長の声には熱がもつていました。当日は30名以上の出場者と70名以上の観客が集まり総勢100名以上の大盛況。加茂地区のカラオケ熱はまだ捨てたものではないようです。ゲスト歌手にみなみあいさんを迎えての華やかな大会では、常連の実力者や歌姫達が苦戦を強いられる大混戦でハイレベルな争いとなりました。

(河崎里山通信員)

昭和村納涼盆踊り大会

日時 8月8日(土)
18:00~20:30
会場 市原市万田野732番地6

主催 社会福祉法人 昭和村
社会福祉法人 昭和村
協賛 万友会

かき氷・水ヨーヨー・飲食物(アルコール・ジュース類)無料
豪華景品の抽選会もあります。

・暑中お見舞い申し上げます。

・久之浜の浜風商店街には2度目の訪問になりました。学校の敷地を借りての仮設商店街も移転の話が出ているらしく頭を悩ませているところだといえます。それにしても久之浜の婦人会の人たちの明るさは元気の源でした。秋には市原に来るということで、明るい笑顔で賑やかしてくれることと思います。

・今年には新潟の大地の芸術祭が開催される年です。7月26日から9月13日まで、「越後妻有アートトリエンナーレ2015」として開催されます。「人間は自然に内包される」という基本理念の下、「人間が自然、文明と関わる術こそ美術」として、広い範囲での芸術祭です。昨年のアートミックス、来年開催される瀬戸内芸術祭とそれぞれが3年ごとの開催です。アートミックスはまだ1回開かれただけですが、2000年から始まった大地の芸術祭は6回目になります。中房総国際芸術祭もまだまだこれからです。参加アーティストの中にはホアン・スーチェさん、岩間賢さん、開発好明さん、無声映画弁士の坂本頼光さん、劇団の切腹ピストルズ、指輪ホテルなど昨年のアートミックスで活躍した人や団体も含まれています。次回秋号ではその様子をお伝えできると思います。

編集後記

・里山通信も今号で49号となりました。次回節目となる50号となります。発行を続けて12年半になろうとしています。記念号としてオールカラー刷りにしたいと考えています。前号の春号も編集段階で菜の花や桜の写真の美しさにカラーにしたいなと本当に思いました。予算の関係があるためになかなかそうはいかないのが残念です。しかし、1年で一番カラーの映えるのは春号ですので、来年の春もカラーにできればと考えています。

・梅雨も明けよいよ夏本番です。花火が開催されなくなつて少し寂しいですが、里山での変わりない毎日の静かな営みもいものです。

(征矢里山通信員)

次回は10月25日発行予定です。

情報提供 取材依頼はお近くの通信員へ。
メールでも受け付けます。
紙面及び記事に関する意見、お問い合わせは左記へ。
市原商工会議所
0436(22)4305 担当 河崎
Eメール Kawasaki@i-cci.or.jp

房総・養老溪谷の地酒お土産は
養老溪谷駅前
角屋商店
養老溪谷観光協会窓口
市原市朝生原181
TEL 0436-96-1108
FAX 0436-96-0052

愛車のある幸せな暮らし
応援します!
安全・安心
有限会社 全日本ロータスクラブ加盟店
小茶自動車
市原市石神227
TEL 0436-96-0482
FAX 0436-96-1293

皆様と共に歩む観光
バス釣り最盛期!
高滝湖観光企業組合
TEL 0436-98-1277